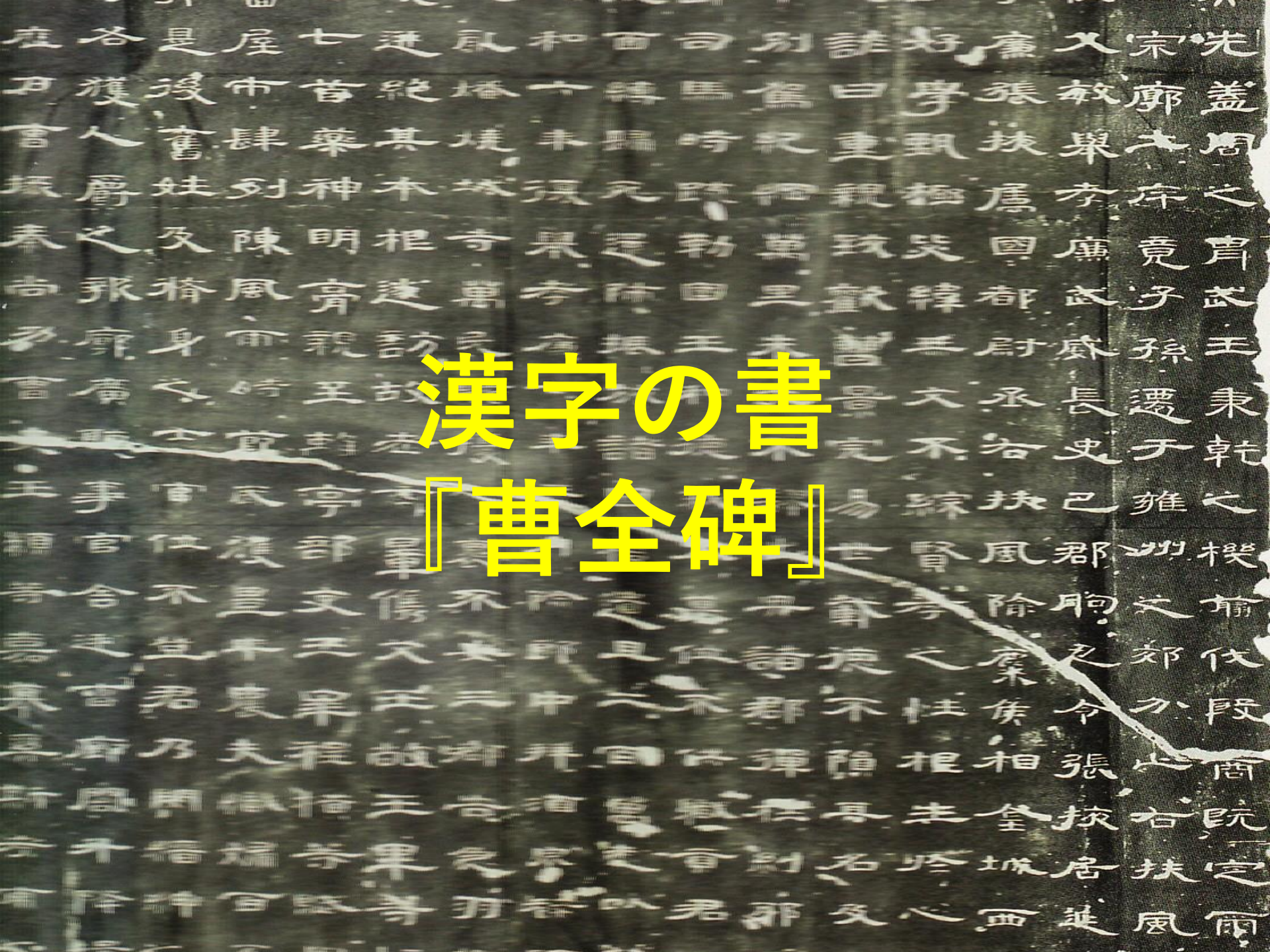
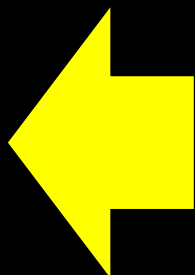


漢字の書

『曹全碑』



○書体の変化



・篆書を
簡略化し
た書体

奴
隸書



・篆書

一万円札にも・・・



日常にみられる隷書

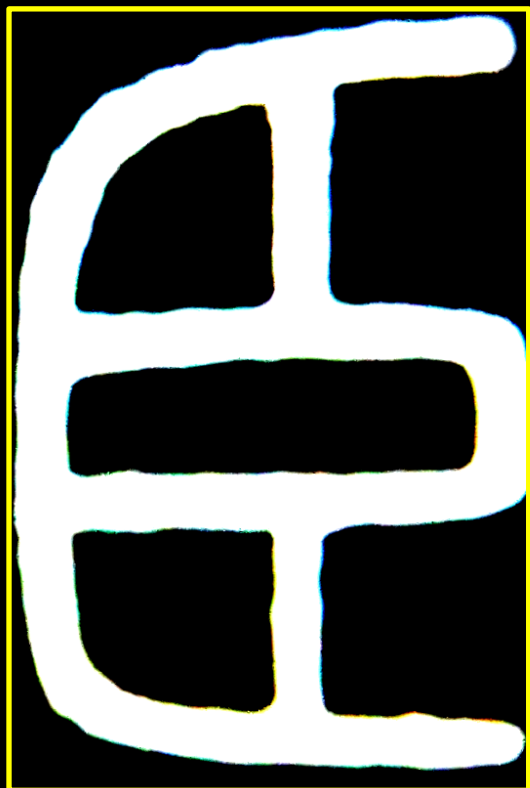
曹全碑

郃陽令收合
燼芟夷殘迸
其本相迷訪

どんな印象がする？
どんな特徴がある？

泰山刻石

縦長

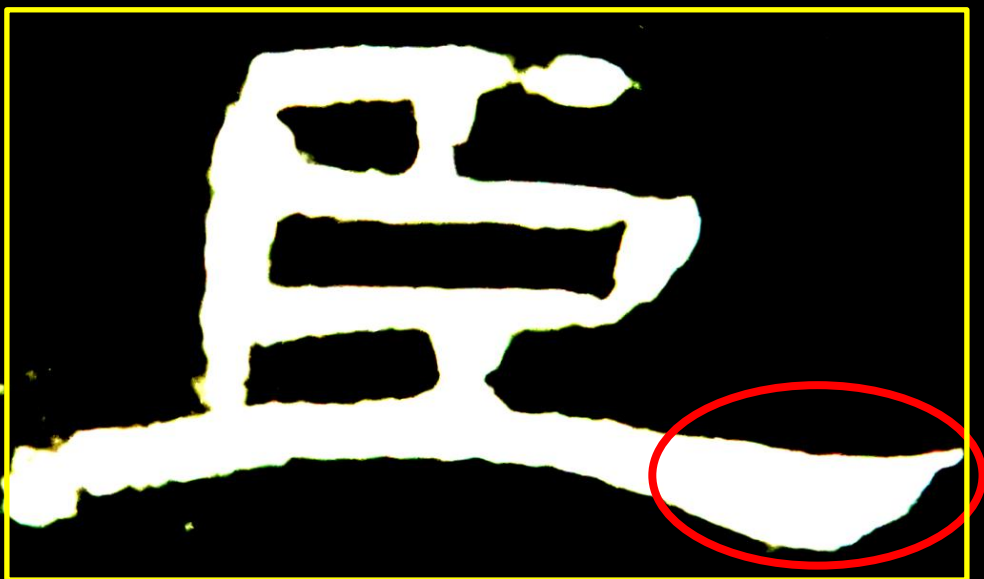


曹全碑

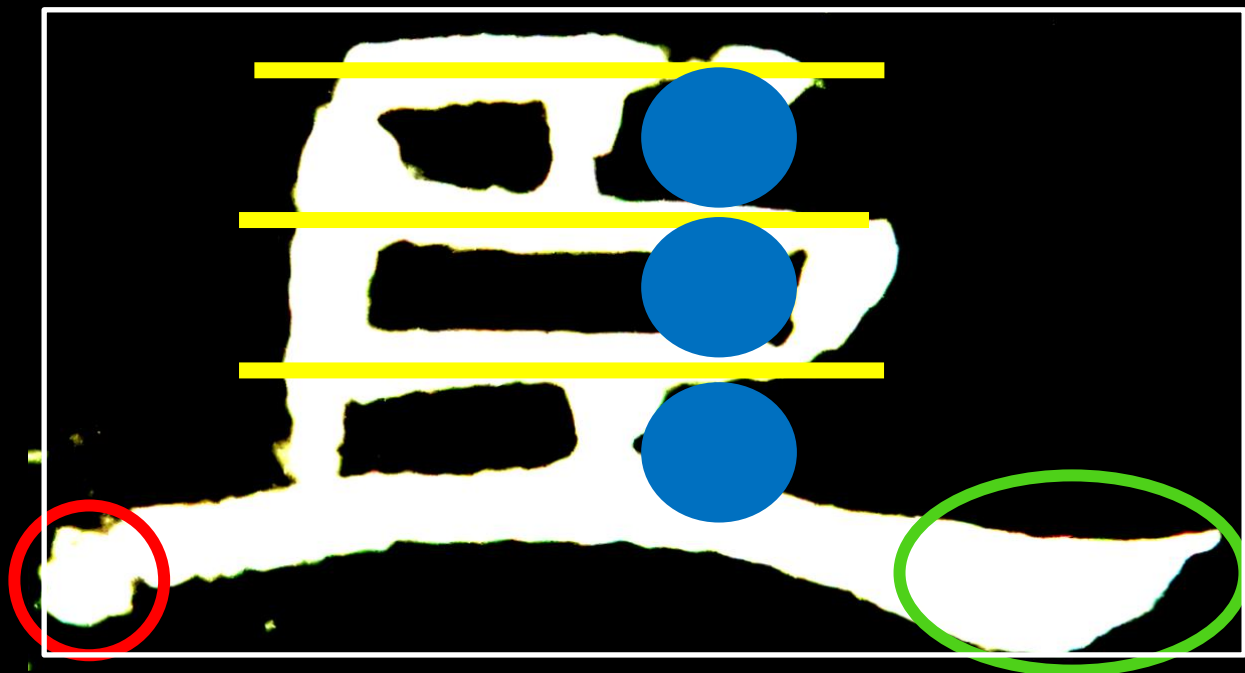
波磔がある

八分 ←

字形が扁平



隸書の特徴



① 藏鋒

② 波磔

③ 水平

④ 等間隔

⑤ 扁平

①、③、④は篆書と同じ特徴

目標

伸びやかな波磔と

扁平な字形を表現しよう。

一時間目の授業の流れ

①伸びやかな波磔を練習する。



②扁平な字形を練習する。

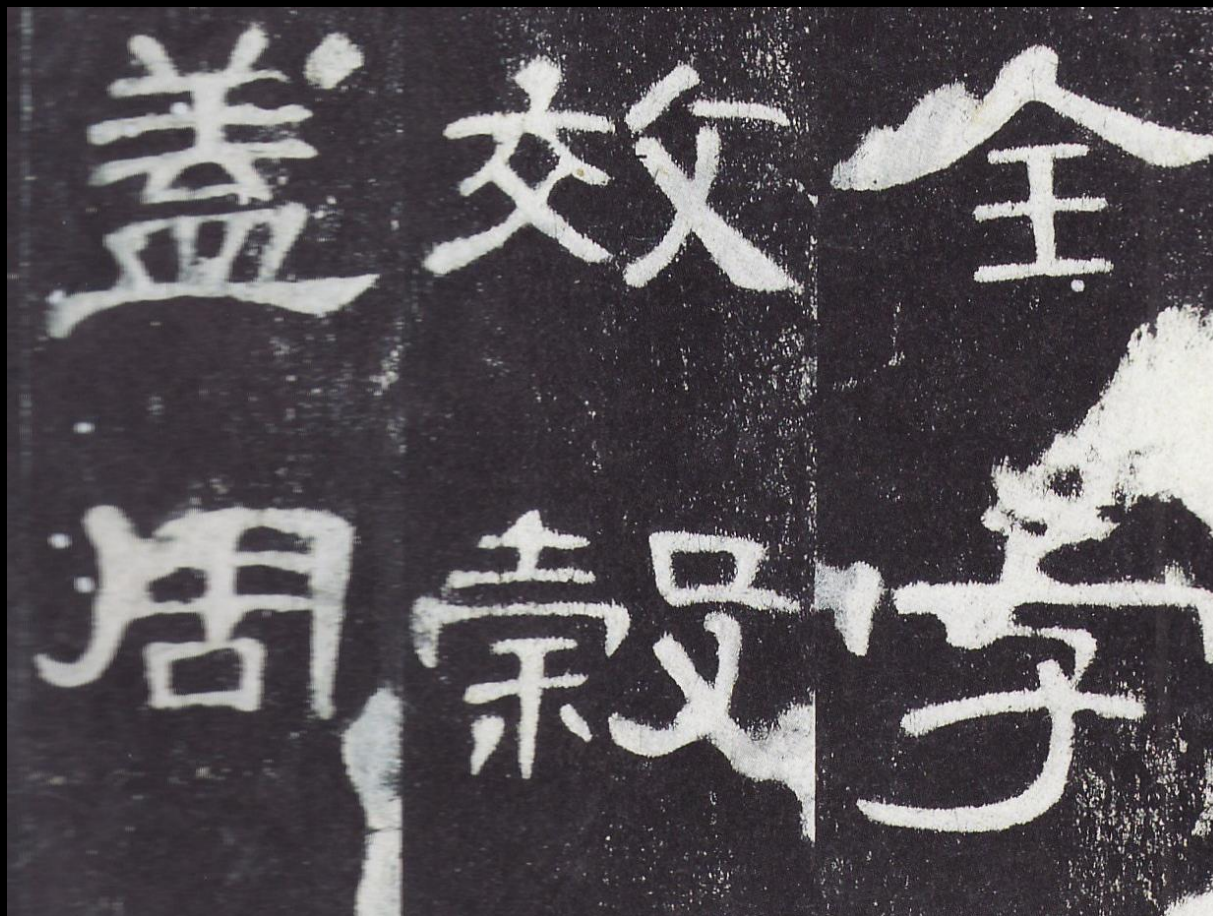


③「亡臣」の二字を臨書する。

亡臣」を臨書しよう。

・半紙を縦にして、
半分に折り、上
下に書こう。

曹全碑について



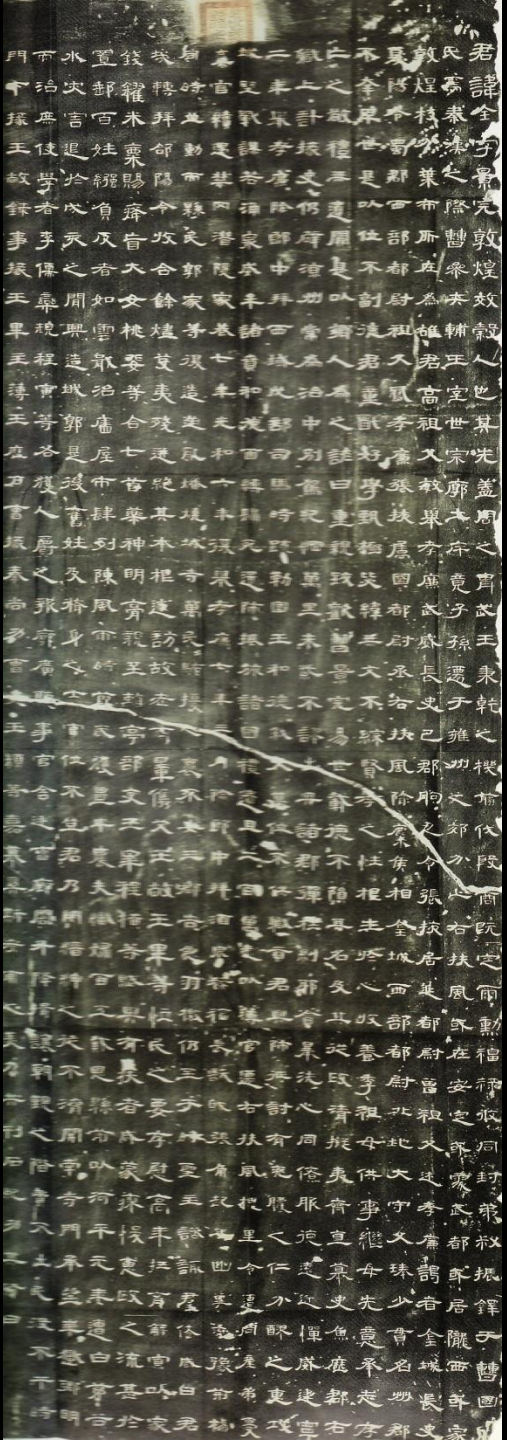
・時代

後漢（一八五年）

・造られた理由

黄巾の乱を鎮めた曹全の
功績を称え、後世に残す
ため造られた。

縦 二七二センチ
横 九五センチ



・他の碑や刻石に比べて、曹全碑が綺麗に残っているのはなぜだろうか？

千六百年もの間、地中に埋められていたから。

WHY ?

この時の宦官（皇帝の部下）は黄巾族の農民反乱を全く鎮圧できなかつた。そこで政治力のあつた曹全に依頼した。

すると曹全は、その
反乱を簡単に沈めて
しまったため、宦官た
ちが黄巾族と曹全と
の間に何か裏がある
のではないか疑いの目
を向け始めた。

曹全の功績を称えた
碑を造ったものの疑わ
れている時に建てると
ますます宦官たちに
目をつけられると思い
いったん地中に埋めて
おこうと考えた。

「少し時間が
たつて

国の情勢が静
まっ

たころに掘り起
こ

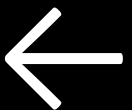
して碑を建てれ
ば

しかし、ほどなく
してすぐに戦乱が
また始まり、三国
時代に突入したの
である。

そのため、曹全碑
を掘り起こす機会
を失い、千六百年も
の間、地中に埋めて
あつたのである。

二時間目の授業の流れ

①自分の課題を設定
する。



②「亡臣」を臨書する。

自己評価をしよう

・前の時間書いた
「亡臣」の課題を
見つけて、二つ設
定してください。

- 「大臣」を臨書しよう。

- 半紙を縦にして、
半分に折り、上下
に書こう。

自己評価をしよう

- 最初に書いたものと、最後に書いたものを見比べて、自分の課題が達成できたか評価をしてください。